

障がい者週間 12/ 3(日)～9(土)

障がい者自立支援協議会“びーしっぷ”が啓発イベントを企画

12月3日(日)から9日(土)までは、障がい者週間です。障がい者の福祉に対する関心と理解を深め、障がいのある人が日常生活のあらゆる分野で積極的に社会参加ができるよう促進する期間です。この週間に合わせて啓発イベントなども実施します。

障がい福祉課
☎995-1820

障がい者自立支援協議会を設置 ～愛称は“びーしっぷ”～

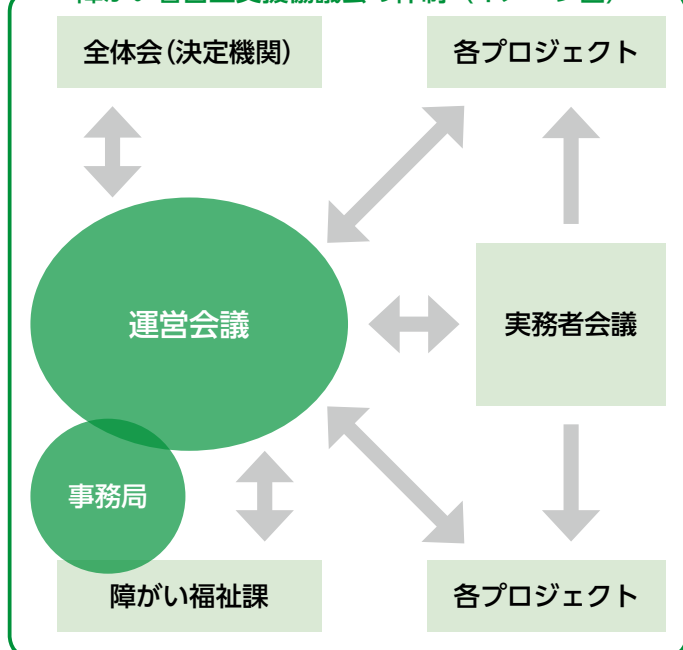
障がい者自立支援協議会は「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に基づき、4月に設置しました。

障がい者関係団体や障がい福祉サービス提供事業者、教育関係者、就労関係者、民生委員などの皆さんが主体となり、地域での障がい福祉に関する連携や支援の体制など地域の課題を抽出して協議・検討を行っています。具体的な課題に対しては、プロジェクトチームを設置し、期間を決めた中で結論を出すように行っています。

協議事項

- 相談支援事業所との連携や評価
- 困難事例からみえる地域課題の抽出
- 地域におけるネットワークの構築
- 障がい者計画や障がい福祉計画の進捗や評価
- 圏域自立支援協議会への提言
- 差別や虐待の防止
- 上記内容を検討するためのプロジェクトチームの設置

障がい者自立支援協議会の体制（イメージ図）



3つの課題をプロジェクトチームで協議

①フェイスシート（基本情報シート）の導入

放課後等デイサービスの利用で、家族、市、相談支援事業所、実施事業所が同じ視点で支援できるようにするため、フェイスシートの導入を市内のサービス提供事業所と協議しました。家族が支援先で重複した内容の聞き取りがないようにすることや、伝えたい内容がダイレクトにつながるように活用します。

②障がい者週間の啓発イベント・キャンペーン

障がい者週間にちなんだイベントを開催するため協議し計画しました。

③社会資源マップの作成

市内にある障がい児者の支援施設を多くの皆さんに知ってもらうため社会資源マップの作成を行い、PRしていきます。

スローガンは 「来て! みて! 共感!! ハートつながる障がい者週間」

障がい者自立支援協議会の主催で、障がい者週間イベントと啓発キャンペーンを実施します。障がい者の福祉に対して関心と理解を深めるため、市内にある障がい児者支援施設や障がい者団体、障がい者を積極的に雇用している企業の協力で活動します。

障がい者週間イベント

時 12月2日(土) 9時20分～15時30分

所 市民文化センター

内 ●障がい児者支援施設などのパネル、作品の展示

- 第27回保育生活展とのコラボによる子どもを対象としたスタンプラリー

- 授産製品の販売

障がい者週間キャンペーン

時 12月5日(火)

- ①7時30分～8時 ②11時30分～12時

所 ①裾野駅 ②裾野市役所玄関前

内 啓発キャンペーン

NPO 法人裾野市手をつなぐ育成会 みどり作業所 ～県授産製品コンクールで県知事賞などを受賞～

NPO 法人オールしずおかベストコミュニティ主催の第 20 回県授産製品コンクールが、10 月 5 日(木)に障害者働く幸せ創出センター（静岡市葵区呉服町）で開催されました。授産製品コンクールは、障がいのある人が福祉事業所などで手作りした商品の品質向上と、一般の方々への周知を目的に行われています。

今回、みどり作業所が出品した商品 2 点が表彰されました。審査では、見た目だけでなく、品質や静岡らしさ、出品者の熱意、市場性・ニーズやお土産としての適性などが審査対象となります。

●県知事賞

Book 型お薬手帳・通帳手入れ



お薬手帳や診察券、通帳、カード類をすっきり収納できる Book 型の手帳入れです。2020 年東京オリンピック・パラリンピックを意識して市松模様をベースに、静岡を象徴する富士山と松、桜、鯛^{たい}などのおめでたい図柄をあしらっています。製作は作業を細分化することで、多くの通所者さんが携わることができました。製作工程で大変だったことは、型どりの際、柄が中心になるように注意することや、男性でも積極的に参加できるよう、工程を細分化することです。

何工程も経て完成した手帳入れは、使い勝手の良いものになりました。



●県社会福祉協議会会長賞

富士山マドレーヌ



富士山型のマドレーヌに「戸田の塩」「掛川の抹茶」「県内産温州みかんジャム」を使用し、静岡の味を再現しました。前回の出品での反省点を踏まえて、パサつきや、焼く際の工夫で表面のふくらみを抑え、製品の均一化を図りました。また、パッケージで富士山の四季をイメージしたちぎり絵を作成し、富士山のイメージにとことんこだわっています。食品を取り扱うため、卵を割る際にも、1 回お椀に入れたものを指導員が確認し殻などの異物が入っていないことを確認しながら作業を進めます。原材料の計量や袋詰め、シール貼りなど通所者さんが多くの作業に携わりながら、指導員と一緒に作業を行っています。

国産バターをふんだんに使用したマドレーヌは、とても美味しく、安心・安全に出来上がりました。

